学校番号	３０１６

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校 現代社会 新訂版　（実教出版）						
副教材等	政治・経済　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・まずは，社会や文化，政治と経済，国際関係など，多様な面から現代社会を理解してほしい。そのためには，学校の授業に止まらず，新聞やニュース，読書，フィールドワークなど，さまざまな方法で幅広い知識を得ることが重要である。
・次に，現代社会の理解を踏まえて，各自がいかに生きるかを考察してほしい。その際，「幸福と何か」「正義とは何か」「公正とは何か」を考え，各自の視点で考察を深めていくことが重要である。
・最後に，自己の考えをまとめて発信する力を付けて欲しい。レポート提出や新聞発表などの機会を設けるので，積極的に取り組んでほしい。

２　学習の到達目標

・現代社会のあり方，政治や経済のしくみ，国際社会のあり方を理解する。
・現代社会，政治・経済，国際社会の課題をとらえ，それらはどのようにして解決していくべきかを考察する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会で起こっている事象や現代社会の課題を積極的に見いだし,問題意識をもってその解決に取り組もうとする。	現代社会の課題に対して,多面的な側面から，幸福・正義・公正の視点をもって考察し,自らの表現でそれを発表する。	現代社会を考察するために，政治，経済のしくみ，法のあり方，国際関係のあり方などについて，教材や資料などから情報を収集し活用する。	現代社会に対する理解を基本として，自己の生き方や将来の社会のあり方を考察し，自己の考え方を確立する。
評価方法	レポート 定期考査（記述問題）	新聞記事の発表 ワークシート 定期考査（記述問題）	ワークシート 定期考査	レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期1	現代社会の諸課題	・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・生命科学と倫理 ・高度情報社会の問題点	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:課題に関心を持つ b:課題を考察し，解決策を考え発表する c:課題に対する知識を深める d:将来の社会のあり方を考察する	レポート 発表 ワークシート
前期2	現代の民主政治と憲法	・民主政治の基本原理 ・憲法の基本原理 ・国会・内閣・裁判所 ・地方自治 ・政党と選挙，政治参加	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:政治や憲法に関心を持つ b:政治や憲法の課題を考察し，解決策を考え発表する c:政治や憲法に対する知識を深める d:将来の社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
前期3	現代の経済社会と国民福祉	・経済社会の変容 ・企業活動と市場 ・金融・財政 ・戦後の日本経済の歩み ・公害問題と消費者問題	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:経済に関心を持つ b:経済的な課題を考察し，解決策を考え発表する c:経済に対する知識を深める d:将来の社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
後期1	国際政治と国際経済の動向	・国際社会と国際法 ・国連のしくみと役割 ・軍縮と民族紛争 ・国際経済のしくみ ・グローバル化と地域主義 ・途上国問題と国際協力	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会に関心をもつ b:国際社会の課題を考察し，解決策を考え，発表する c:国際社会に対する知識を深める d:将来の国際社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
後期2	青年期と自己	・青年期の意義と課題 ・哲学と宗教 ・人間の尊厳と自由			○ ○ ○	○ ○ ○	c:青年期や哲学・宗教などの知識を深める d:自己の生き方と社会のあり方を考察する	レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。